

## 試験研究（事後）評価整理表

試験研究機関名 衛生研究所

所管グループ 業務グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	2-3- 生活衛生等の確保(食品等の安全性の確保)		LC/MSによる食品中に残留する動物用医薬品(抗生物質等)の残留検査に関する調査研究	効率的かつ迅速に、より多くの動物用医薬品(抗生物質等)の残留検査ができるようにLC/MSを用いた一斉分析法を確立する。	食品安全対策事業で実施している畜水産食品中の抗生物質等の検査の検体を用い、従来の分別推定法によるスクリーニング検査と平行して、LC/MSによる一斉分析法を検討する。	16	17	B	LC/MSによる畜水産食品中に残留する動物用医薬品の一斉分析法を確立し、概ね目的を達成した。	畜水産食品中の抗生物質等の検査に際し、一斉分析が可能になったことから、効率性、迅速性が確保できたことに意義がある。平成18年5月の新システムへの対応もスムーズと言える。
2	2-3- 生活衛生等の確保(衛生的な生活環境の確保)		ICP発光分光分析装置を用いた温泉水中の金属成分の調査	温泉水に含まれる金属成分を明らかにし、温泉の効能や飲用上の安全性確保の資料とする。	1 ICP発光分光分析装置を用いた温泉水に対する分析法の確立 2 県内40箇所程度の温泉の金属成分調査	16	17	B	ICP発光分光分析装置を用いた分析法を確立した。また県内温泉49カ所の金属成分調査を実施し、温泉利用における安全性等の資料を得ることができ目標を達成した。	アドバイザーA:温泉水中の金属成分の分析は、安全性確保のための基礎資料となるので意義が大きい。何らかの基準値を照らし合わせて、安全と言えるかどうかの判断をしてゆくという展開も考えられる。 アドバイザーB:評価は適正と思います。飲用の適合基準は早急に作るべきと思います。